

1 都立大崎高等学校防災部（防災活動支援隊）

平成24年度、東京都教育委員会から防災教育推進校に指定され、その取組の一つとして防災活動支援隊（現在は部活動の防災部として認められている）が組織されました。学校を取り巻く環境ですが、地域は木造住宅密集地域であり、東京都内でも有数の危険地域に指定されています。

そのため防災活動支援隊に対する期待感はとても強く、地域の様々な活動に参加するとよくわかります。現在、学校における防災活動はもとより、地元町会や地域、品川区、東京都の様々なイベントに参加しています。

そして、その活動が認められ、品川区、東京消防庁・荏原消防署、東京都教育委員会から表彰を受けました。

現在地元では、大崎高校と言えば「防災活動支援隊（防災部）」というイメージがあります。

2 具体的な活動

(1) 4月

地域防災フェアにてAED操作・初期消火訓練の指導、防災部員募集活動

(2) 5月

品川区主催水防訓練への参加、上級救命講習受講（10月と2グループに分かれて、1学年生徒全員）

(3) 6月

地元荏原消防署におけるD級可搬ポンプ操作訓練

※来年度は、品川区民消火隊として豊二町目消防団の分隊となり、学校にD級可搬ポンプが配置され、来年度より大崎高校独自の操作訓練を展開

(4) 7月

品川区内の義務教育学校（品川区小中一貫校「豊葉の杜学園」）との防災教育を通じた教育活動の連携

※今年、昨年度末に作成した「地域（豊二・三丁目、戸越四・五丁目）AEDマップ」の印刷・配布を実施

(5) 8月

東日本大震災後、石巻市で自然に咲いた、通称「ど根性ひまわり」を育てる取組

(6) 9月

「ど根性ひまわり」開花後の日常世話係

(7) 10月

一泊二日の宿泊防災訓練（1学年）のリーダー担当

(8) 11月

品川区第4・5地区防災訓練参加

(9) 12月

AEDマップの配布活動

(10) 1月

全校防災ジュニアリーダー合宿

・都立高校防災サミット参加

(11) 2月

戸越五丁目防災訓練にてAED操作、スタンバイパイプ操作指導

(12) 3月

赤十字社減災セミナー受講（2学年）、

「大崎高校防災フォーラム」実施

※1年間の活動のまとめとして、

「防災広場マップ」（平成24）、

「消火栓マップ」（平成25）、

「AEDマップ」（平成26）を作成



大崎高校 防災活動支援隊の決意

お：おおくの生徒による実践（自助）

お：おたがいに助け合う（共助）

さ：さわやかな行動（主体性）

き：きたいされる大崎生（地域貢献）



3 実際の活動から

(1) 防災活動支援隊（防災部）

部活動の一つとして設置されており、災害発生時に自助・共助できるよう、D級ポンプの操作・AEDの取り扱いなどの訓練を行っています。
また、地域の防災訓練に積極定期に参加し、日々の防災訓練に関する知識・技能を高めています。
写真は第四地区総合防災訓練に参加した時の模様です。



(2) 根性ひまわりの世話係

ど根性ひまわりとは、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市で、津波によりどこからか流されて来た種が津波にも塩害にも負けず開花したものです。
そのど根性ひまわりが多くの人々に育てられ、「ど根性ひまわり5世の種」として大崎高校に届きました。ど根性ひまわりは防災部の部員が懸命に育てあげ、開花しました。ひまわりから採れた種は地域の学校に送り、次の世代へと旅立って行きます。



(3) AEDマップの作成

AEDマップとは、ある一定地域に置かれているAEDがどこに設置されているのかをわかりやすく写真や地図で表したものです。昨年3月に防災部が地域の協力のもとAED設置場所を歩き、その場所を記録しました。
このようなマップは警察署、消防署、病院には置かれていないため今後の活動でAEDマップの設置を広めていきます。



4 休養日

基本的には平日は活動なし。